

## どうなる大久保北部遊休地 今年度は環境調査を実施予定 土地全体での利活用を検討

**問** 大久保北部遊休地の利活用について、現状と同地にあった教育キャンプ場や市民農園を再開する予定がないのか聞く。

**答** 昨年、NEXCO西日本から神戸西バイパス延伸工事で発生する土砂を大久保北部遊休地にて受け入れてほしいとの提案があったが、

同社と調整がつかず、提案は取り下げられた。しかし、工事に伴い遊休地へのアクセス道路が整備されることから、利活用に向けた取り組みは進める。今後は、環境調査や埋蔵文化財調査、遊休地に点在する民有地の地権者との調整などが必要となる。

今年度については、環境調査を実施する予定だ。教育キャンプ場は、昭和55年に開設したが、交通の便が悪く駐車場もないこと



神戸西バイパス延伸工によりアクセス道路を整備

から利用者が少なく、安全確保にも問題があり平成24年に廃止した。市民農園は、昭和53年に開設したが、利用者が減少し、運営方針の変更などから平成25年に廃止した。現在、こ

れらの跡地は草木が生い茂り立ち入り困難な状況で、施設も老朽化しているため再開は難しいと考える。今後は、このようなスポット的な活用ではなく、土地全体での利活用を検討していく。

### 教育長

### 任命に同意

教育長として、北條英幸氏(62歳・太寺4丁目)を任命することに同意しました。同氏は、昭和57年から明石市に奉職され、政策部長、教育局長などを歴任。平成29年からは、明石市社会福祉協議会理事を務められています。本市の教育長の任期は3年です。

### 公平委員会委員 選任に同意

公平委員会委員のうち、柴田達三氏の辞任に伴い、後任として坂下玲子氏(59歳・貴崎4丁目)を選任することに同意しました。同氏は、兵庫県立大学看護学部看護学科教授を務められるとともに、今年4月からは同大学の副学長も務められています。本市の公平委員は3人で、任期は4年です。なお、坂下氏の任期は、柴田氏の残任期間となります。

### 教育委員会委員 任命に同意

教育委員会委員のうち、栗岡誠司氏の辞任と伊賀文計氏の任期満了に伴い、後任として橋幸男氏(79歳・大久保町西島)と橋本彰則氏(62歳・大久保町ゆりのき通2丁目)を任命することに同意しました。橋氏は、県立明石西高等学校の校長、甲南大学教職教育センター教授などを歴任されています。橋本氏は、医師として活躍され、兵庫県医師会常任理事、明石市医師会会長などを務められています。本市の教育委員は4人で、任期は4年です。なお、橋氏の任期は、栗岡氏の残任期間となります。

## ふるさと納税寄付金

### 寄付者の意向に沿っているのか

### その使い道に疑問

**問** 本市のふるさと納税寄付金は、寄付者が8項目の応援プランから選択できるよう募集しているが、寄付者の意向に沿った事業に使われているか疑問が生じている。例えば、明石ダコの保護を応援するプランへの寄付金額は3177万円だったが、明石ダコの保護に関する事業へは約250万円しか充当されていない。寄付者と寄付金の

活用を期待する市民に対して不誠実な対応だと思いが、市の見解を問う。

**答** 寄付金は、原則として寄付者の意向に沿った活用を考えている。令和2年度は約4億1200万円の寄付があったが、市民が市外へ寄付することによる減収分等を差し引きすると、黒字額は約6300万円だった。ふるさと納税制度は、税制上

は間違った制度で、寄付金は特定財源というよりも、大きくは市税収入としての一般財源になると考えている。現在、本市のふるさと納税サイトでは、各プランの趣旨説明と活用事業を記載しているが、寄付金の全額を事業に充当するのではなく、各分野の中から代表的な事業



ふるさと納税には8項目の応援プラン

は間違った制度で、寄付金は特定財源というよりも、大きくは市税収入としての一般財源になると考えている。現在、本市のふるさと納税サイトでは、各プランの趣旨説明と活用事業を記載しているが、寄付金の全額を事業に充当するのではなく、各分野の中から代表的な事業

## ウィズコロナ時代の議会運営

### 議会運営 委員長に聞く

**【担当分野】** 議会の円滑な運営に必要な協議や意見の調整、法定の事項に関することなどを審査します。

**重点的に取り組む事項**  
本会議や委員会では、手指消毒やマスクの着用、議員や理事者の座席間隔を空け、会場の換気を行うなど、必要な感染症対策を行っています。ウィズコロナ時代にふさわしい議会運営に尽力するとともに、市政の発展と市民福祉の向上を図るといふ議会本来の役割が十分に果たせるよう努めています。また、9月に市議会のホームページをリニューアルしました。今後も情報発信を充実していきますので、ご期待ください。

**委員長として一言**  
新型コロナウイルスに関する国や県、市からの支援策を一日も早く市民の皆さまに届けるため、必要があれば臨時会を開くなど、スピーディーな議会運営を心掛けながら、しっかりと審議を行います。ご理解よろしくお願ひします。

**寺井 吉 広**  
【議員歴】 在職3期。監査委員、総務常任委員長、文教厚生常任委員長などを歴任。57歳。

## 今年度中の総合計画策定を目指す

### 第6次長期総合計画(あかしSDGs推進計画) 特別委員長に聞く

**【担当分野】** (仮称)あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)の策定に関することを審査します。

**重点的に取り組む事項**  
人や会社が成長するには、目標を立て、そこに向かって進むことが必要だと思えます。行政でも同じことが言えます。市民の幸福感があふれ、本市がさらに発展していくには、そこに向かう長期的な目標を立てることが必要です。現在、新型コロナウイルスの影響で長期総合計画の策定が大幅に遅れているため、今年度中の策定を目指して、

**委員会での議論を進めます。**  
**委員長として一言**  
コロナ禍において社会全体の弱点が明確になってきました。その弱点を埋める施策やアフターコロナの社会像に合った計画が必要で、今後、社会が急激に変化することも踏まえ、変えるべきところと守らなければならぬところをしっかりと議論し、将来のあるべき姿を導き出していきます。

**千住 啓 介**  
【議員歴】 在職4期。議長、副議長、監査委員、文教厚生常任委員長などを歴任。45歳。